

学校教育目標	「チャレンジ! なかよし! 進んで学ぶ 東の子」				
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 進んで学び続け、考えを深め、豊かにする子どもを育てます。(知) ○ 自分大好き、友達大好き、心豊かに生きる子どもを育てます。(徳) ○ 心も体も鍛え、自他の生命と体を大切に作る子どもを育てます。(体) ○ 地域を愛し、人やものとの出会いも大切に、共に生きる子どもを育てます。(公) ○ 社会の多様な変化に柔軟に対応できる子どもを育てます。(開) 				
学校概要	創立 45 周年	学校長 小田 和宏	副校長 菊地 園子	2 学期制	一般学級: 12 個別支援学級: 2
	児童生徒数: 364 人	主な関係校: 高田中学校、高田小学校			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<ul style="list-style-type: none"> 〈豊かな人間関係を形成する力〉 〈言語能力〉 〈自分づくりに関する力〉 〈自らすすんで学び、高めようとする力〉 〈協働してよりよい社会を目指す力〉 	高田中学校 高田小学校 高田東小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自らすすんで学び続ける子 ○ 仲間と協力してよりよい社会の実現を目指す子 「豊かな表現力の育成を目指して〜他者と考えや思いを共有するコミュニケーション能力を活かして〜」をブロックテーマとして、学習活動を展開する。 ・小中授業交流や教科主任会、12人会議等を通して、小中一貫カリキュラムの理解を進め、具体的な取組を検討・検討していく。 ・児童生徒の交流を進めるとともに、地域と連携した取組を進める。

中期取組目標	「一人ひとりの子どもを徹底的に大切に、どの子どもにも居場所となる学校づくり」を目指します。
	(1)人権教育を基盤とし、児童一人ひとりに寄り添った支援・指導をすることにより、あたたかな学級・学校風土をつくります。 (2)学びに向かう力を高め、確かな知識・技能の習得やそれを活用する思考力・判断力・表現力の育成を図ります。 (3)学級や学年を超えた集団の活動を充実することにより、自他を大切に、共によりよく生きる力を育てます。 (4)保護者や地域との連携を図ることにより、地域や社会に関心をもち、高田のまちを愛し、大切に作る心を育てます。 (5)自他の違いを受け止めながらコミュニケーションを図り、考えを表現したり合意を形成したりする力を育てます。

重点取組分野	具体的取組
豊かな心 担当 生活指導部	①全教育活動を通して行う道徳教育の要となる道徳科の授業改善に努め、道徳的判断力や心情、実践意欲や態度を育成する。②人との豊かなかかわり合いを通して、自己有用感や感謝の気持ちを高め、自分も人も大切にして、よりよく生きる子どもの姿を目指す。
生きてはたらく知 担当 学習指導部	①教育課程全体で育成を図りたい資質・能力を明確にし、自ら問いを見出し、主体的・協働的に問題解決をしていくための授業改善を進める。②横浜市学力・学習状況調査や全国学力・学習状況調査の結果から子どもたちの実態を把握・分析し、学習指導充実のための継続的な検証改善を図る。
健やかな体 担当 健康・安全指導部	①体力向上に向けて、体育学習の充実を図り、一校一実践運動の「長縄跳び」を通して、進んで運動に取り組む子どもの姿を目指す。②自発的に健康づくりに取り組めるように、けんこう会議の取組に対する支援の充実を図る。③芝生の養生期間の取組を工夫し、楽しく体を動かす環境をつくる。
特別支援教育 担当 特別支援委員会	①ユニバーサルデザインで学習環境の整理を進め、視覚的な手がかりを活用したり見通しをもたせる工夫をしたりすることによって学習意欲を高め、安心して取り組める授業づくりに努める。②一人ひとりのニーズに応じた個別の支援計画・指導計画を作成し、状況に応じた支援及び合理的配慮を行う。
児童生徒指導 担当 生活指導部	①「学習スタンダード」や「学校のやくそく」を全職員で共有し、指導の意図を明確にして一貫共通した指導を行う。②Y-Pアセスメントを効果的に活用し、子ども一人ひとりや集団の実態を把握し、横浜プログラムを活用して「自分づくり」「仲間づくり」「集団づくり」を進める。
地域連携・学校運営協議会 担当 教務部	①学校運営協議会で「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を共有し、地域住民・保護者の意向を把握し、学校運営に生かす。②地域コーディネーターの配置を目指し、地域にある「人・もの・こと」を活用し、豊かな学習活動、体験活動になるように連携を図る。
公共心と社会参画 担当 総合部・健康安全指導部	①学習活動に体験的な活動を位置づけ、様々な人との出会いを通して考え方や生き方を知ることができるようにし、自分づくり教育を進める。②児童が集団の中で自分の役割を意識し、自分のよさを発揮して役立つ喜びを感じられるように、発達段階に応じた活動計画を立てて実践する。
教育環境整備 担当 研究部・学校管理部	①教材・教具・図書の整備及びICT機器の整備・活用方法の理解を図り、効果的な活用方法を探るとともに、授業改善に役立てる。②校内の安全点検や設備状況調査を定期的実施し、破損個所の修繕等、環境整備に努めるとともに職場環境の改善を図る。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	①月1回のいじめアンケートにより、児童の人間関係の把握、継続した学級風土の点検を行い、未然防止・早期発見に努める。②いじめ防止対策委員会を実施し、組織的な児童の見守り体制を行うとともに、児童の人間関係の変化やいじめに対する全教職員の感度を高める研修を行う。
人材育成・組織運営(働き方改革) 担当 教務部・メンターチーム	①「人材育成指標」を活用して教職員の適切な目標設定・目標共有を行う。②メンターチームを7年次までの教職員で組織して人材育成を進める。③設定された時間の中で、組織で主体的に話し合いを進めるようにし、組織を活用したOJTを進める。④外部発注が適している業務を積極的に外部委託し、教職員の負担軽減を図り、子どもに向き合う時間を確保する。